

名古屋市SDGs債

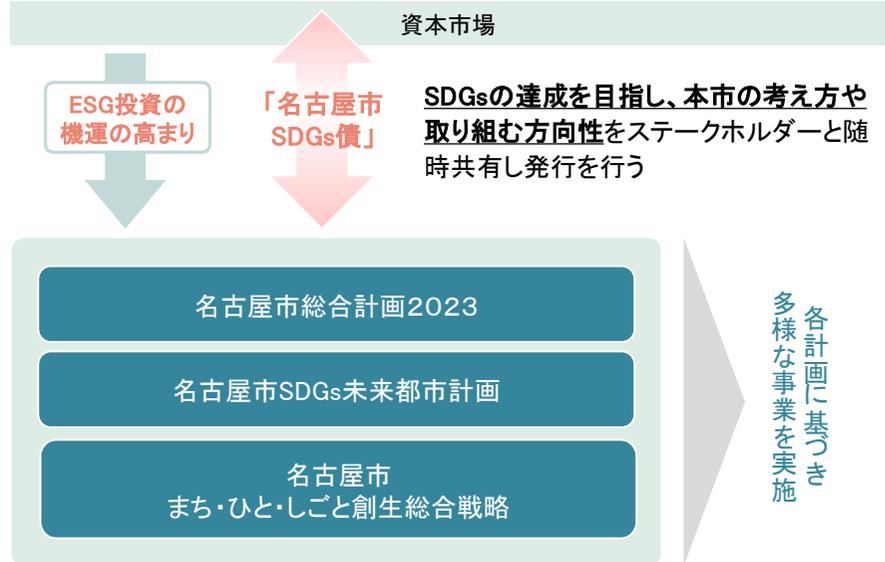
SDGsに関する第三者評価の取得

- 1. 評価対象** 名古屋市総合計画2023
名古屋市SDGs未来都市計画
名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 2. 評価基準** 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」
「企業・事業体向けSDGインパクト基準 バージョン1.0」
- 3. 評価者** 株式会社格付投資情報センター(R&I)
- 4. 評価結果** 上記2で示されている基本的な考え方に基づいて、戦略、アプローチ(執行・管理)、透明性、ガバナンスの観点から、名古屋市の総合計画等がSDGsの達成に資するものと評価
- 5. 評価時期** 令和4年8月

区分	内容
戦略	名古屋市総合計画2023は、SDGsの理念を採り入れ、広範なステークホルダーとの協働を通じて、インパクトニーズの大きい領域に絞り込んで重点戦略を策定している。
アプローチ (執行・管理)	市民の満足度や意識などに関する定性的な指標と事業量などによる定量的な指標を複数組み合わせ、毎年度、進捗状況を評価している。評価結果を体系的に記録・管理し、議会報告や情報開示に活かすとともに、毎年度予算の重点化などに反映させている。
透明性	毎年度、成果指標の達成状況や事業の実施状況をウェブサイトで公表している。総合計画の策定方針、計画面、市民意見等の概要を公表している。
ガバナンス	「名古屋市まち・ひと・しごと創生・SDGs推進本部」の本部長を市長、副本部長を副市長、本部員を各局区室長とすることで、全庁を挙げての推進体制としている。外部有識者は、域内のステークホルダーの多様性に配慮したうえで、産官学金労言民をメンバーとして選定している。

第三者評価を受けた3つの政策の関係性

名古屋市(自治体)の取り組みについて



名古屋市SDGs債の商品性

	通常のSDGs債	名古屋市SDGs債
ICMA原則	準拠	準拠せず
第三者評価	フレームワークに付与	事業運営方針に付与
資金使途	SDGsに資する事業	
レポート	資金使途(指定事業別)	発行体の掲げる事業別
目指す成果	SDGsの達成	